



これは一部の販売可能なスーパーが時間制限、入場制限をしながら売り出した時の状況です。

動物収容能力

	センター	動物病院	計
犬 🐕	59	99	158
猫 🐈	25	93	118
計	84	192	276

今回の震災においては、巨大津波により全てが飲み込まれて埋まってしまうという被害が甚大でありましたので、おそらく今までの地震のような状況ではなく、人と一緒に生活していた動物の命も一瞬にして奪われたのではないかと思います。ですから相当数の動物が保護され飼い主から一時預かるという状況ではありませんでした。獣医師会とセンターの収容可能数で、譲渡によって回転をよくしていけば対応可能と判断しました。

仙台市被災動物救護対策本部設置

3/25 臨時本部 5/10 本部設置

構成	(社) 仙台市獣医師会	構成	同
	NPO法人エーキューブ ハートtoハート	事務局	(社) 仙台市獣医師会
	仙台市動物管理センター	その他	幹事・監事
事務局	仙台市動物管理センター	事業	①被災動物医療
活動	①動物病院診療情報		②被災動物保護
	②動物病院での一時預かりと診療		③避難動物支援
	③避難所への支援物資配布		④被災動物救護
	④被災動物の一時預かり		⑤その他
	⑤被災動物の保護・返還・譲渡		

以上、津波の状況、震災被害の状況でしたが、この中でも命からがら動物と共に避難して来た人がたくさんいました。その中で獣医師会とボランティアが出来る限りの動物の救護をしようという事で立ち上げたのが仙台市被災動物救護対策本部です。岩手に比べると設置するのが遅れましたが、この日までそれぞれのやれることをやってきて3月25日に臨時本部を立ち上げ、5月10日に本部の設置にこぎつきました。動物管理センターが事務局だったものを獣医師会の方に持ってきてしっかりした要綱をつくったという違いがあります。

震災後の動物救護状況(平成23年12月31日現在)

飼い主不明動物及び引取動物はセンター対応、飼い主からの一時預かりについては、獣医師会と明確に役割分担した。

動物病院における被災動物一時預かり実績(3/12~9/10)

31病院

	受入頭数	延べ日数
犬 🐕	142	
猫 🐈	58	
その他	1	
計	201	8,756

先程岩手県の獣医師会長も仰っていた通り、飼い主不明の動物、引取動物についてはセンター対応、飼い主から一時預かりは獣医師会対応と明確に役割分担をしまして、新たなシェルターをつくることなく動物を収容しました。動物病院では9月までに31の病院が201頭、延べ8,756日の一時預かりをしました。

